

名古屋市議員

うえぞの晋介

市政レポート
号外
発行：令和2年10月



市政につなぐ

あなたの声、その思い

子育て世代が希望をもって子を産み育てられる環境づくりの実現を目指します。「社会的弱者」と言われる方々の声を市政につなぎ、希望に満ちた暮らしの実現を目指します。地域の安心・安全のために、住みよい西区を目指します。

【新型コロナウイルス感染症への対応・対策について】

多大な影響を受けられた市民の皆様のために、新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式のもとに感染症克服と経済活性化の両立を図り、一刻も早い日常を取り戻すための施策を迅速かつ適切に実行していきます。

当面は【無所属】で活動することを決断しました！

この度の国民民主党解散におきましては、大変ご心配をおかけし申し訳ございませんでした。私自身、今後の所属する政党について大変思い悩みましたが、両党それぞれの進む道や政策をまずはしっかりと見極めるため、当面は政党に所属せず無所属で活動することを決断致しました。私が想う何よりも大切なことは、政党の看板ではなく皆様にとって一番身近な自治体議員として、地域で必要とされ地域の課題や求められる要望にどう応えていくかが、最大の使命であると考えております。今一度、政治を志した原点に立ちかえり、西区のうえぞの晋介として頑張っ参ります。どうか、今後とも変わらず引き続きのご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

8・9月の2ヶ月間 大学生のインターンを受け入れ活動！

今期でうえぞの事務所10期生となる大学生のインターンを8・9月の2ヶ月間受け入れました。この取組みは、選挙権を取得した若者に政治をもっと身近に感じ、政治の大切さを考えてもらう活動です。参加してくれた大学生3人は、全員が1年生でありコロナ禍において、卒業式や入学式等がすべて中止となった世代でもあり、せめて議員インターンシップでは実りある活動をさせてあげたいとの思いで、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら2ヶ月間で約140時間(1人平均)の活動を行うことが出来ました。インターンシップでは大きな課題も与えられており、「もしあなたが総理大臣になったら？」というテーマのもと、30年後「本当に住みたい日本」のビジョンを掲げ、国家デザインコンテストにチャレンジしました。政策立案コンテストでは「安心して子育てのできる日本へ」と題して、少子高齢化・人口減少社会に対して、今後の必要な政策をまとめ発表してくれました。

下記に記載の企業、事務所等について、活動期間中に訪問・視察の受け入れご協力を頂き感謝を申し上げます。

- ・伊藤たかえ参議院議員 ・吉田つねひこ衆議院議員 ・上野まさみ北名古屋市議 ・中野ゆうじ江南市議
- ・森ともお名古屋市議 ・国民民主党青年委員会 ・名古屋市交通局 ・名古屋市住宅都市局 ・名古屋市健康福祉局
- ・名古屋観光コンベンションビューロー ・株式会社ワンストップパートナーズ ・東洋電機株式会社等





新型コロナウイルス感染症対策



名古屋民主市議団 新型コロナウイルス感染症対策 各種要望活動について

令和2年2月28日・子どもたちをはじめ市民の安心・安全対策に万全を期するよう、今後、状況の変化に応じて適切かつ迅速な対応を講ずるよう要望する(市長へ要望)

4月 8日・新型コロナウイルス感染症対策下における子供たちの安全な居場所と学習環境の確保について(市長へ要望)

5月 1日・非常時における子どもたちの学習環境の確保等について(市長へ要望)

5月 6日・緊急事態宣言の延長に伴い引き続き休業要請を受ける市内事業者への追加支援等について(市長へ要望)

5月 8日・新型コロナウイルス感染症対策下における水道料金について(上下水道局長へ要望)

6月17日・新型コロナウイルス感染拡大の第2波が来る可能性を視野に入れた体制の整備について(市長へ要望)

7月14日・コロナ禍において子ども・保護者の気持ちに寄り添った対応を求める要望(教育長へ要望)

7月31日・新型コロナウイルス感染者数の状況を鑑み、検体採取体制や検査機器の充実、人員確保などPCR検査体制の強化を早急に図ることについて(市長へ要望)

8月12日・コロナ禍における学校再開に向け、最大限の対応を求める要望について(副市長へ要望)

8月19日・新型コロナウイルス感染症の軽症者等に対する支援に関する要望について(市長へ要望)



令和3年(2021年)度 名古屋民主市議団予算要望について

コロナ禍において、経験したことのない危機的な状況だからこそ、市民の命・暮らし、そして地域経済を支える中小企業を守り抜くとともに未来の子どもたちに豊かな「名古屋」を残していくために、今なすべき施策を名古屋市長に要望しました。

・新型コロナウイルス感染症対策

1. 学校が臨時休業になった場合においても、子どもたちの学びを保障するとともに安全な教育環境を確保するため、ICTを活用したオンライン教育等を推進すること。
2. コロナ禍において疲弊した地域経済を支える中小企業を支援するため、感染拡大や「新しい生活様式」に対応するための支援策や消費活性化策を検討し、実施すること。
3. デジタル化の推進、AI・ロボットの導入などアフターコロナでの「新たな日常」やSociety5.0に対応した新しいサービスの創出につながる企業の投資及びスタートアップの支援などイノベーションを促進する取組みを推進すること。
4. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種については、すべての市民がワクチンを公費で確実に接種できる体制を構築すること。
5. 新型コロナウイルス感染症の拡大時に台風・地震などの自然災害が重なり、複合災害となることも想定し、今回作成した「指定避難所運営マニュアル新型コロナウイルス感染症対策編」について、各地で発生する災害の状況を踏まえて随時見直しを図るとともに、避難所運営に対する住民支援にあたっては、地域住民の理解が得られるよう、より丁寧な周知を図り、さらなる避難所の確保を進めること等



<9月11日 河村市長に対して来年度の予算要望を行いました。服部団長、加藤顧問、うかい副団長、岡本政審会長、橋本幹事長、うえぞの副幹事長>

うえぞの晋介事務所

〒451-0082

名古屋市西区大金町2-44 グランディール大金1A

地下鉄：鶴舞線「庄内通駅」2番出口 徒歩5分

市バス：「鳥見町」下車 徒歩3分

TEL/FAX：052-528-3339

開所時間帯：月曜～金曜(土日祝休) 10時～16時

Mail: info@uezono-s.com 公式ホームページ: www.uezono-s.com

